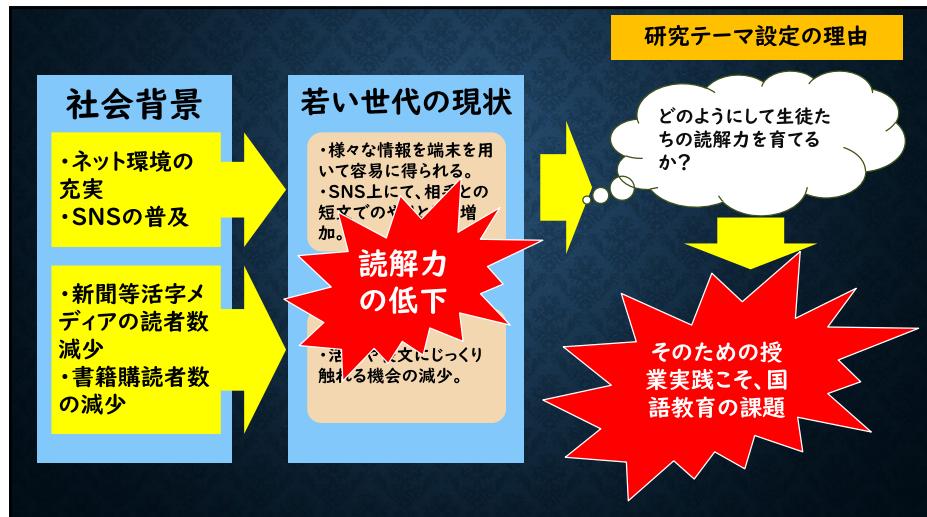


研究テーマ設定の理由



研究テーマ設定の理由				
集計結果				
分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)	
			宮崎県(公立)	全国(公立)
対象学校数	宮崎県(公立)	130	87	88.0
	全国(公立)	9,340		
対象生徒数	宮崎県(公立)	8,572	891,820	
全般		14	70.1	72.2
学習指導要領の内容	(1) 言葉の持続や使い方に關する事項	8	43.9	46.5
	(2) 情報の扱い方に關する事項	1	68.1	70.2
	(3) 我が国の言語文化に關する事項	3	41.0	48.5
	A 話すこと・聞くこと	1	63.6	67.9
評価の観点	B 書くこと	1	42.9	48.5
	C 読むこと	2	63.6	67.9
	知識・技能	10	60.3	65.0
	思考・判断・表現	6	59.0	62.3
問題形式	主従的に学習に取り組む態度	0		
	選択式	8	71.0	73.7
	短答式	5	68.2	70.3
	記述式	3	53.3	57.4

※「学習指導要領の内容」と「評価の観点」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題別集計結果

研究テーマ設定の理由						
2二①	漢字を書く（のぞく）	文脈に即して漢本を正しく書く	82.9	82.1	7.2	8.8
2二②	漢字を書く（よろこんで）		81.3	80.5	2.3	3.3
2三	農林水産省のウェブページにある資料の一節から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える	自分の考えが伝わる文面になるように、根拠を明確にして書く	43.9	46.5	10.8	9.0
3一	「読みみたいに挙げる書きがは」に考え方いろいろ表現の技法が挙げられているものを選択する	表現の技法について理解する	49.9	52.5	0.4	0.7
3二	「ほめに書かれた」の意味として適切なものを選択する	事象や行為、心情を表す語句について理解する	80.5	84.0	0.2	0.3
3三	話の展開に沿って「おれ」の行動や心情を並べ替える	場面の裏面や登場人物の心情の変化などについて、語文を繋ぎ取る	-5.1	82.1	1.2	1.0
3四	「おれ」は前を「なるほど」と思ったのかについて、話の展開を取り上げて書く	場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈する	83.7	73.8	17.8	13.3
4一	行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する	行書の特徴を理解する	27.8	39.3	無回答	+4.5
4二	最初に書いた文字の漢字のバランスについて説明したものとして適切なものを選択する	漢字の行書の読みやすい書き方について理解する	88.3	90.1	0.9	1.0
4三	書き直した文字の「と」の書き方について説明したものとして適切なものを選択する	漢字の行書とそれに説明した仮名の書き方を理解する	78.3	81.1	1.0	1.1

研究テーマ設定の理由						
C 読むこと 第1学年						
<p>(1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握すること。</p> <p>イ 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えること。</p> <p>ウ 目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈すること。</p> <p>エ 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。</p> <p>オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすること。</p>						

研究テーマ設定の理由						
C 読むこと 第2学年						
<p>(1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えること。</p> <p>イ 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。</p> <p>ウ 文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること。</p> <p>エ 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。</p> <p>オ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。</p>						

研究テーマ設定の理由						
C 読むこと 第3学年						
<p>(1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えること。</p> <p>イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。</p> <p>ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。</p> <p>エ 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつこと。</p>						

C 読むこと

- ・「場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして内容を解釈すること」
- ・「複数の情報を整理しながら適切な情報を得ること」
- ・「文章と図表などを結び付けたりして内容を解釈すること」
- ・「文章を批判的に読みながら文章に表れているものの見方や考え方について考えること」

研究テーマ設定の理由

これらの指導事項を授業実践に反映し、生徒に必要とされる力をいかにして身に付けさせていくかが重要!!

研究テーマ設定の理由

[仮説]
 「説明的な文章の学習において、根拠を明確にしながら文章を読む活動を段階的かつ系統的に行えば、論理的に思考する力が身に付くのではないか。」

研究の視点

視点① 説明的文章における段階的な指導の設定

視点② 論理的思考を養うためのICTの活用

研究の実際

視点① 説明的文章における段階的な指導の設定

ア 筆者の意見と根拠を読み取るための指導の工夫
 (1学年)

イ 文章の構成や展開について考えるための指導の工夫
 (2学年)

ウ それまでの学習を踏まえて自分の考えを表現するための指導の工夫
 (3学年)

視点①ア《筆者の意見と根拠を読み取るための指導の工夫》 研究の実際

「『言葉』をもつ鳥、シジュウカラ」ペア学習の様子



視点①ア《筆者の意見と根拠を読み取るための指導の工夫》 研究の実際

| 観点 | 根拠の説明 |
|----------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1. 読み取ったことを基にまとめた生徒のワークシート | （記入欄） |
| 2. 読み取ったことを基にまとめた生徒のワークシート | （記入欄） |
| 3. 読み取ったことを基にまとめた生徒のワークシート | （記入欄） |
| 4. 読み取ったことを基にまとめた生徒のワークシート | （記入欄） |
| 5. 読み取ったことを基にまとめた生徒のワークシート | （記入欄） |

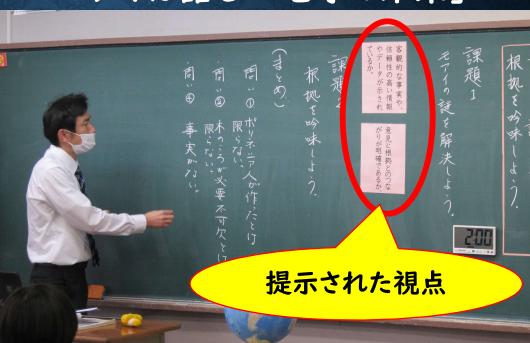
読み取ったことを基にまとめた生徒のワークシート

視点①イ《文章の構成や展開について考えるための指導の工夫》 研究の実際

「モアイは語る—地球の未来」



デジタル教科書のマイ黒板で文章の構成を捉える



視点①イ《文章の構成や展開について考えるための指導の工夫》 研究の実際

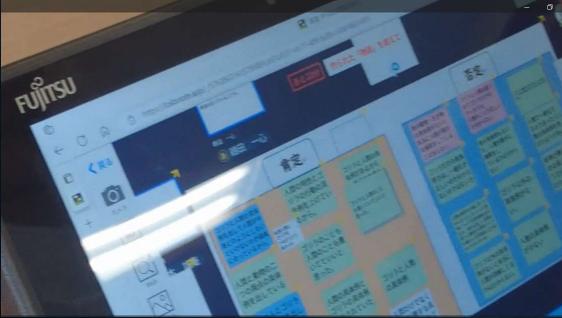
対話的に論理の展開を吟味する場面の様子



教師も話し合いに参加し、生徒の思考の一助となる。

視点①ウ《学んだことを生かし、表現するための指導の工夫》 研究の実際

「作られた『物語』を超えて」



「ゴリラの話」から「人間社会」へと一般化することの妥当性について、肯定派か否定派か自分の立場を明確にした。

視点①ウ《学んだことを生かし、表現するための指導の工夫》 研究の実際

自分の立場を明確にし、自分の考えをまとめている様子



「ゴリラの話」から「人間社会」へと一般化することの妥当性について、自分の立場を明確にする活動。

視点② 論理的思考を養うためのICTの活用 研究の実際

「『言葉』をもつ鳥、シジュウカラ」におけるICTの活用



視点② 論理的思考を養うためのICTの活用 研究の実際

「モアイは語る—地球の未来」におけるICTの活用



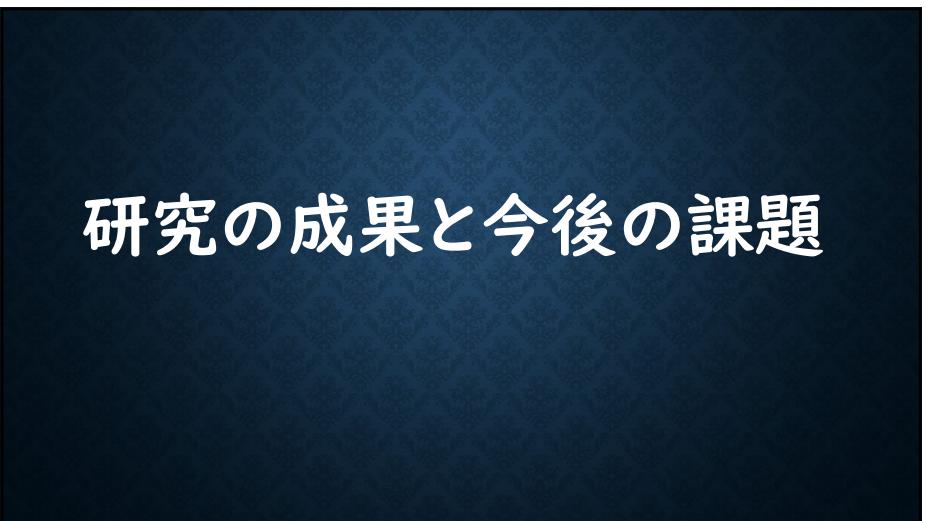
デジタル教科書
マイ黒板の活用

視点② 論理的思考を養うためのICTの活用

研究の実際

「作られた『物語』を超えて」におけるICTの活用

ロイロノート(共有ノート機能)の活用



(1) 成果

- 根拠を明確にして考える活動を徹底し、発問の工夫を行ったことで、生徒の中に論理的に考える態度が見られるようになった。
- 他者と意見を共有する活動の工夫を行うことで、生徒が自分の考えを深めたり、明らかにしたりできるようになった。

(2) 課題

- 生徒が3年間で段階的に論理的思考が身に付けられるような授業の展開の工夫を継続して行う必要がある。
- 論理的思考を基にした表現する力を養う授業の工夫について、更に研究が必要である。

